

2026年1月24日(土)
14:00～17:00(受付13:30～)

日本体育・スポーツ経営学会 第75回 研究集会

Japanese Society of Management for Physical Education and Sport

ジュニア・ユース世代の 地域スポーツ環境を考える

～多様な組織の「連携・協働」を問い直す～



■開会挨拶、趣旨説明

■情報提供

「スポーツ少年団と総合型地域スポーツクラブの連携推進体制の構築について」 金谷英信(日本スポーツ協会／地域スポーツ推進部クラブ担当部長)

■パネルディスカッション

「ジュニア・ユース世代の地域スポーツ環境を支える組織の連携・協働を問い直す」

●日本スポーツ協会の視点から

金谷英信(日本スポーツ協会／地域スポーツ推進部クラブ担当部長)

●スポーツ少年団の視点から

辻川比呂斗(順天堂大学／日本スポーツ少年団リーダー養成WG班長)

●総合型地域スポーツクラブの視点から

千葉洋平(岐阜薬科大学／本学会員)

●学校運動部活動の視点から

朝倉雅史(筑波大学／本学会常務理事)

コーディネーター:行實鉄平(久留米大学／本学会常務理事)

参加費
無料

■総括 閉会あいさつ

参加方法

WEB申込み
(URLまたはQRコードより)
<https://forms.gle/xQtQlFumyLRgSdwc8>



会場

場所: 東海大学
品川キャンパス
4号館 1階 4105教室



※参加・振込締切: 1月20日(火)

後援

公益財団法人日本スポーツ協会(予定)

ジュニア・ユース世代の地域スポーツ環境を考える

～多様な組織の「連携・協働」を問い直す～

開催趣旨

本学会の研究集会では「子どものスポーツ環境」に関するテーマを繰り返し取り上げてきました。たとえば「体力向上や暴力根絶に向けた学校・地域・家庭の連携」、「子どもたちが参与できるスポーツ環境の構築(組織づくり)」、「都市部と中山間地域でのスポーツ環境格差と地域創生」、「運動部活動の地域展開というイノベーション(改革)」といった過去のテーマを振り返ると、私たちは子どもたちのために、どんなスポーツ環境をつくっていくべきか、そのために多様な主体による「連携・協働」をどのように生み出し、それをいかに継続していくことができるのかを問い続けてきたことに気づきます。

現行の「第3期スポーツ基本計画」(スポーツ庁、2022)では、地域スポーツ環境の構築方策として、「日本スポーツ協会」(JSPO)による「日本スポーツ少年団」(JJSA)を新たなジュニア・ユーススポーツ統括組織として体制強化を図り、「総合型地域スポーツクラブ」(CCSC)との連携・協働により「新たな地域スポーツクラブ」づくりに取り組むことが提示されました。また、この「新たな地域スポーツクラブ」は、部活動の地域展開の受け皿としても機能することが想定されています。

この「連携・協働」というキーワードは、「スポーツ立国戦略」(文科省、2010)以降、スポーツ政策の方向性として提示され続けてきましたが、その実現(実態)は如何なるものであったのか。私たちは、これまで「連携・協働」について「いかに生み出し、継続できるか」を問うてきましたが、一方で、「なぜ生み出せず、継続できないのか」を同時に問うことは少なかったように思います。

今回の研究集会では、ジュニア・ユース世代の地域スポーツ環境を支える多様な組織の「連携・協働」について「どう進めていくか」と同時に「なぜ実現しないのか」についても議論してみたいと思います。

具体的には、まず、JSPOが第3期スポーツ基本計画を踏まえ2024(r6)年度にJJSAとCCSCとの連携推進体制の構築に向けて新たに設置した「地域スポーツ連携促進会議」の状況について金谷英信氏(日本スポーツ協会)に情報提供をしていただきます。その後、ジュニア・ユース世代のスポーツ環境を支える代表的な地域スポーツ組織(JJSA、CCSC、学校部活動)の実態を長らく見つめてきた研究者の方々とのパネルディスカッションを行います。また、これらを踏まえて、参加者の皆様とも一緒にジュニア・ユース世代の地域スポーツ環境を支える組織の新たな経営課題について議論ができればと思います。

問い合わせ先

日本体育・スポーツ経営学会 アウトリーチ委員会
担当: 行實鉄平(久留米大学/本学会常務理事)
E-mail jamps.outreach@gmail.com

